

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド

ーイーグルアイIIー予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

ハリスの運用哲学と今後の米国株式市場の見通しについて

2017年10月20日

※当資料は、組入ファンドの運用会社であるハリス・アソシエイツ・エル・ピーのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

お伝えしたいポイント

- ・ 長期的なパフォーマンスに主眼を置くハリス社の運用スタイル
- ・ 「悪魔の代言人」の設定など、特長ある運用プロセス
- ・ 割安なポートフォリオの株価バリュエーション
- ・ 今後の米国株式市場の見通しと運用方針について

長期的なパフォーマンスに主眼を置くハリス社の運用スタイル

運用パフォーマンスは、常に一定の数値が出るものではなく、短期的なパフォーマンスに焦点を当てると逆効果になりかねません。短期的なリターンは、振幅が大きく、一時的なパフォーマンス悪化を避けようとする行動は、長期的なパフォーマンスを大幅に悪化させる可能性があります。ハリス社では、長期的に良好なリターンの獲得を目指すためには、短期的なパフォーマンス悪化のリスクを受け入れなければならないと考えています。

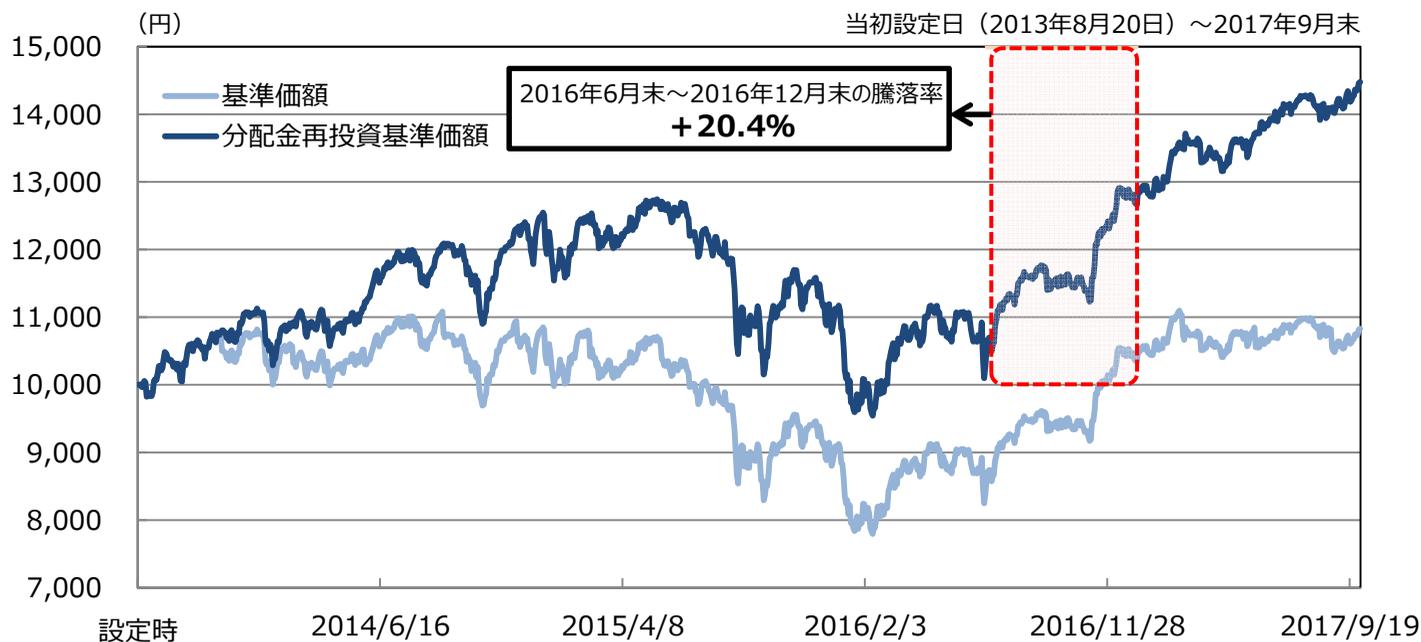
このような意味では、2016年は典型的な例だと言えます。市場は、当ファンドが高めの組入比率としていた金融や一般消費財・サービスの銘柄を過小評価していた一方、低めの組入比率としていた生活必需品や公益事業など安定的な収益が期待されるといわれる銘柄を過大評価していました。2016年7月以降、この評価の乖離が縮小に転じ、忍耐強く投資を行っていた当ファンドの基準価額は大きく上昇しました。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

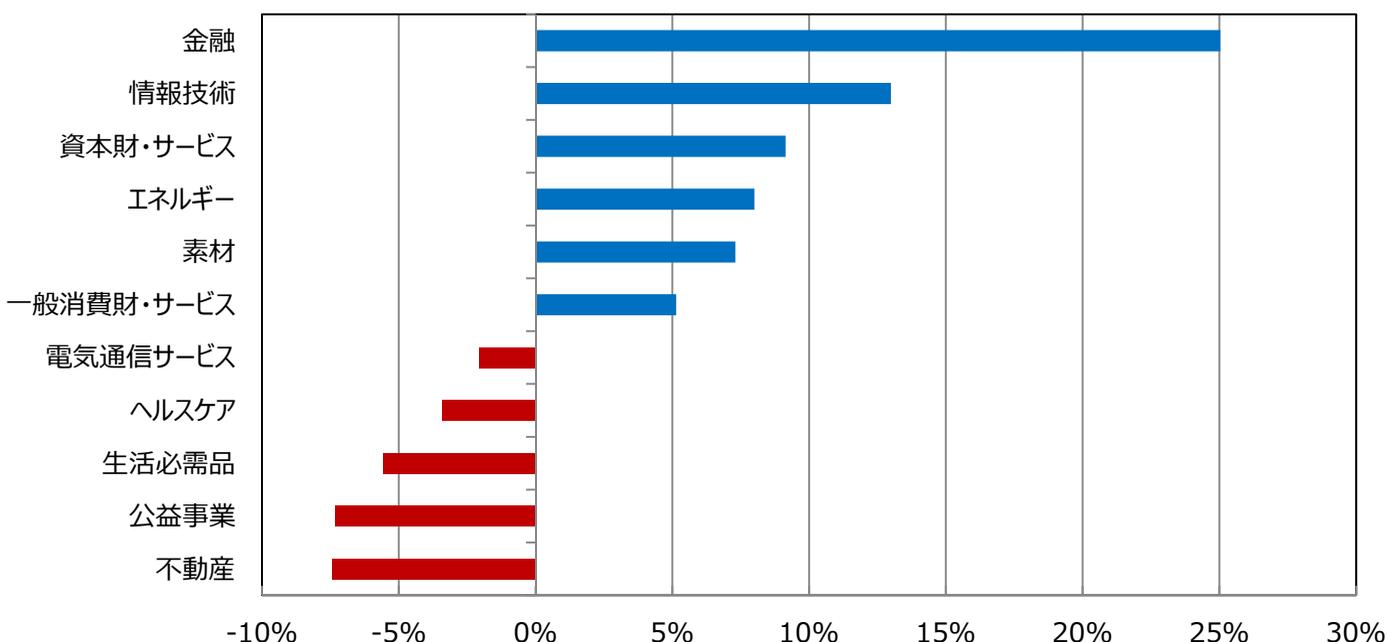
基準価額の推移 (通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型日本円・コース)



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(ご参考) 米国株式のセクター別リターン

(2016年6月末~2016年12月末)

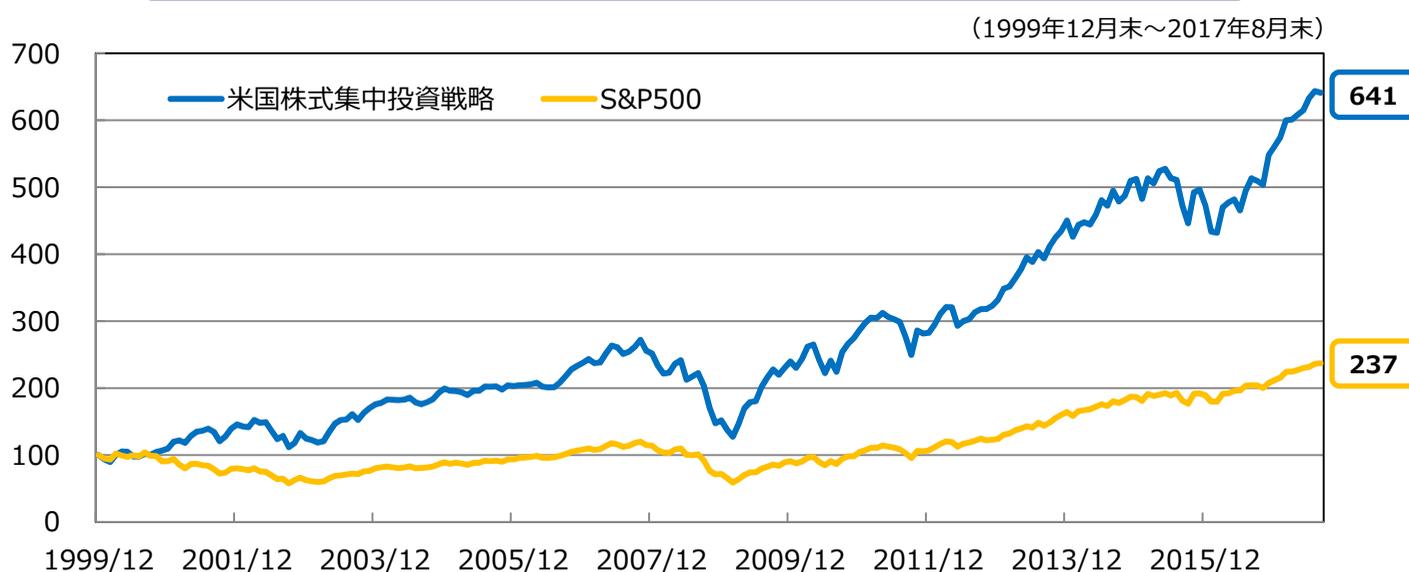


※MSCI米国指数の各業種別指数を使用。不動産については指数が取得可能な2016年8月末からのリターンを使用。
 ※MSCI インデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

(出所) ブルームバーグ

ハリス社は1976年シカゴで設立された運用会社です。割安な優良企業を徹底したリサーチで特定することに定評があります。同社の運用チームは主に銘柄の本源的価値から30%程度以上割安と判断される銘柄でポートフォリオの構築を行います。このような運用手法は往々にして市場から評価を得ていない企業や業種を選好することにつながります。市場からの評価が低い銘柄を購入する際、その評価の乖離がいつ是正されるかは分からないものの、ハリス社は本源的価値評価を定期的にモニタリングしつつ、忍耐強く待ちます。株価と本源的価値の差が縮小するまでに時間を要することもありますが、ハリス社としては、長期的に良好なパフォーマンスを達成していくことに主眼を置き、この運用スタイルを継続しています。以下は当ファンドと同じ運用哲学で運用を行っているハリス社の米国株式集中投資戦略の1999年12月末からのパフォーマンスを示したグラフです。長期的に良好なパフォーマンスとなっていることがわかります。

米国株式集中投資戦略と米国株式のパフォーマンス比較～良好な長期パフォーマンス～



※米国株式集中投資戦略は、当ファンドと同様の運用方針で運用されている類似ファンド（コスト控除前）です。あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドとは異なります。上記は過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※1999年12月末を100として指数化。S&P500は配当込み。

(出所) ハリス・アソシエツのデータをもとに大和投資信託作成

「悪魔の代言人」の設定など、特長ある運用プロセス

ハリス社では、現在12名の米国株式アナリストがおり、投資銘柄を発掘することのみに専念しています。アナリストは業種を絞って担当していることが多いですが、ハリス社のアナリストは経営者との面談などを通じて、業種にこだわらず銘柄を発掘します。発掘された銘柄は、ハリス社の全ての運用関係者が出席する組入可能銘柄決定会議に提案されます。

同会議では、起案アナリストに対してあえて批判や反論を展開する役割を演じる「悪魔の代言人」とよばれる者をあらかじめ用意しておき、徹底的な批判や反論を試みます。一般的に集団意思決定では間違った決定をしてしまうリスクがあると認識しており、「悪魔の代言人」はそうしたリスクを低減するための優れた仕組みといえます。このような審査を通過した銘柄のみが、銘柄選定委員による多数決で組入候補銘柄リストに掲載されます。このリストの中からポートフォリオ・マネージャーが組み入れに同意した厳選銘柄のみが、最終的にポートフォリオに組み入れられます。

割安なポートフォリオの株価バリュエーション

当ファンドでは、割安で優良と判断される厳選銘柄に集中投資を行っています。

一般的に、バブルとは割高になった株式がさらに割高になる現象と捉えることができます。本源的価値より30%低い水準でないと投資しないというハリス流の割安株投資では、割高になった株式に投資してしまうリスクは限定的といえます。また、アナリストに担当業種を持たせないという方針も、バブル化した株式を組入れないことにつながっていると考えられます。2000年前後でITバブル崩壊がありましたが、こうした銘柄はハリス流の割安株投資では割高と判断されたため、ハリス社では一切組入れがありませんでした。

以下のグラフはハリス社が考えている当ファンドのポートフォリオ全体としての「株価」の「本源的価値」に占める比率の推移です。株価の上昇を受けて、2017年8月末現在で約77%まで上昇してきましたが、依然として割安度の高い状態が維持されていることがわかります。

当ファンドのポートフォリオの株価／本源的価値比率の推移

(2013年8月末～2017年8月末)



(出所) ハリス・アソシエイツのデータをもとに大和投資信託作成

今後の米国株式市場の見通しと運用方針について

米国株式市場は、堅調な米国経済や企業業績の改善などを背景に2017年に入っても史上最高値を更新しています。米国経済は、雇用情勢の改善や資産価格の上昇などを背景に個人消費の拡大が期待されること、世界経済の安定やドル安などから企業景況感の改善が見られること、などから引き続き堅調に推移していくことが期待されます。今後は米国トランプ政権の経済政策の要となる税制改革や、金融規制緩和、インフラ（社会基盤）整備などの経済政策が具体化すれば、米国株式市場にとってさらなる支援材料になると考えられます。

短期的には米国トランプ政権の経済政策の実現性、朝鮮半島をめぐる地政学リスク、主要国の金融政策の動向などに左右される展開になると考えられます。当ファンドでは、引き続き、ボトムアップによる企業リサーチを基に、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。

個別銘柄では、クラウド向け事業が好調な情報関連銘柄や、個人向け金融事業で利益成長が期待される銀行などに注目してまいります。

基準価額の推移

<日本円・コース>



<豪ドル・コース>



<ブラジル・リアル・コース>



<米ドル・コース>



<通貨セレクト・コース>



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

以上

現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払されると、その金額相当分、基準価額は下がります。

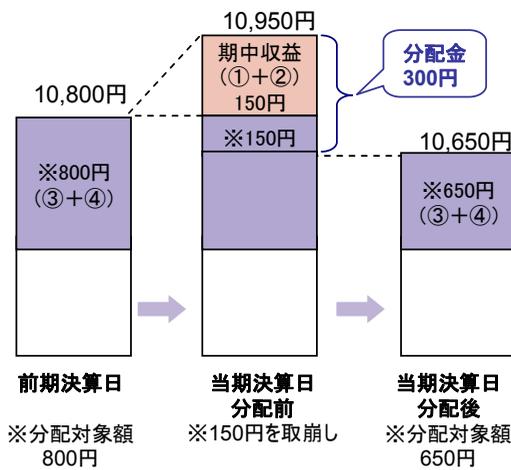
投資信託で分配金が支払われるイメージ



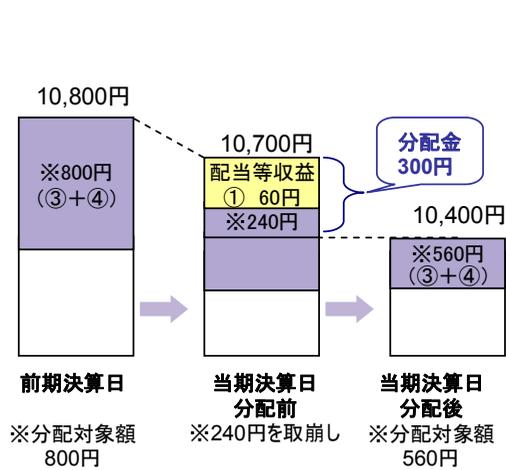
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



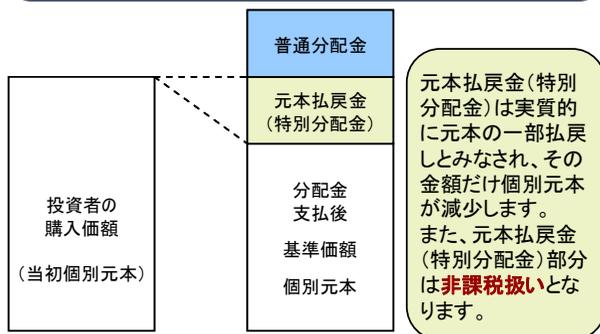
前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

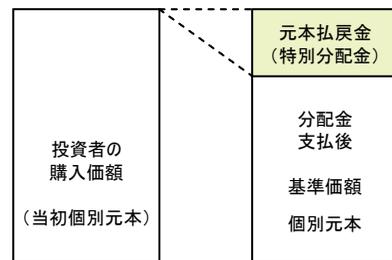
- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



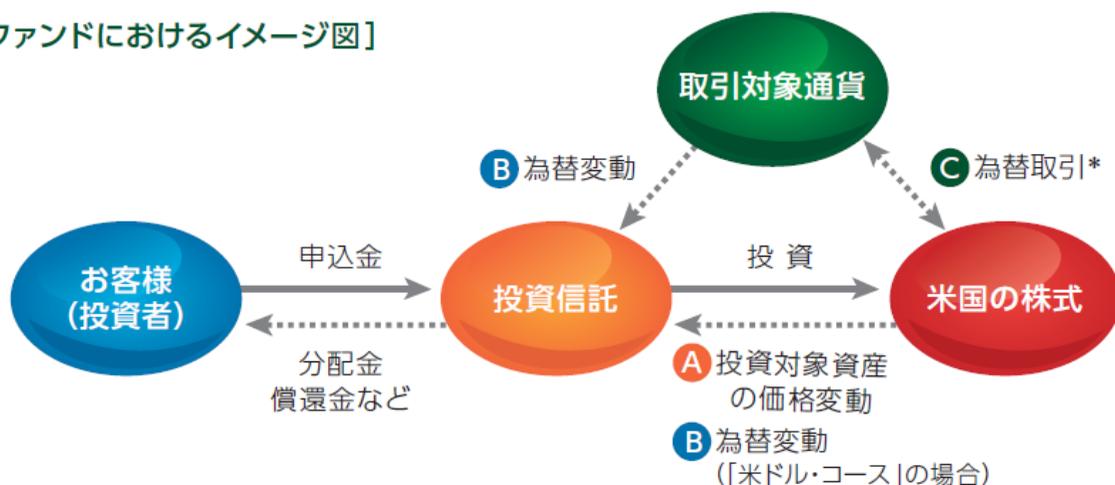
普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- ◆通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

[当ファンドにおけるイメージ図]



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- ◆当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

| | A | B | (注) C |
|------------------------|---------------------------------|--|--|
| 収益の源泉 | 米国の株式の配当、 値上がり/値下がり | 為替差益/差損 | 為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の収益/費用) |
| 収益を得られる ケース | 株価の上昇、配当収入 | 為替差益の発生 | 取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利 |
| 損失やコストが 発生する ケース | 株価の下落 ・発行企業の経営不安、 倒産等 | 為替差損の発生 ・円に対して取引対象 通貨安 ・円に対して米ドル安 (「米ドル・コース」の場合) ※「日本円・コース」を 除きます。 | 取引対象 通貨の短期金利 < 米ドルの 短期金利 ※「米ドル・コース」を 除きます。 |

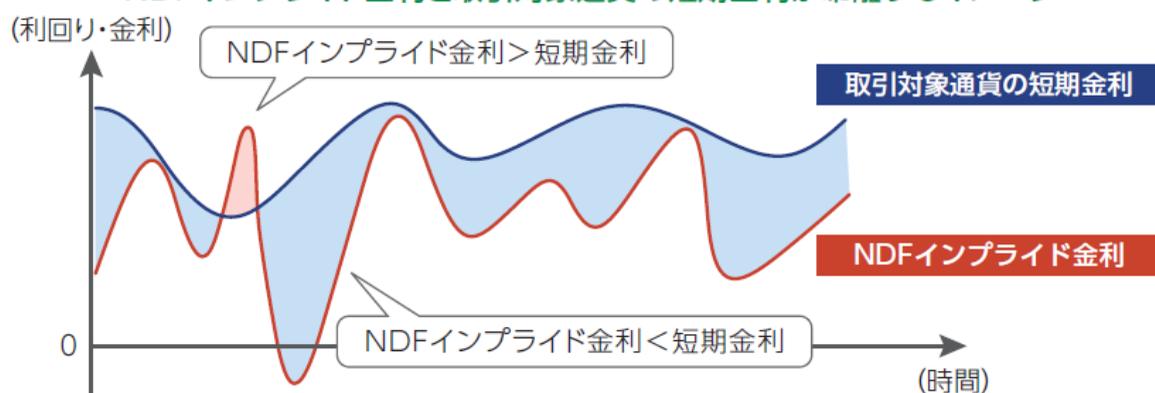
(注) 取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム/コストは、需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- ◆ 取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆ NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

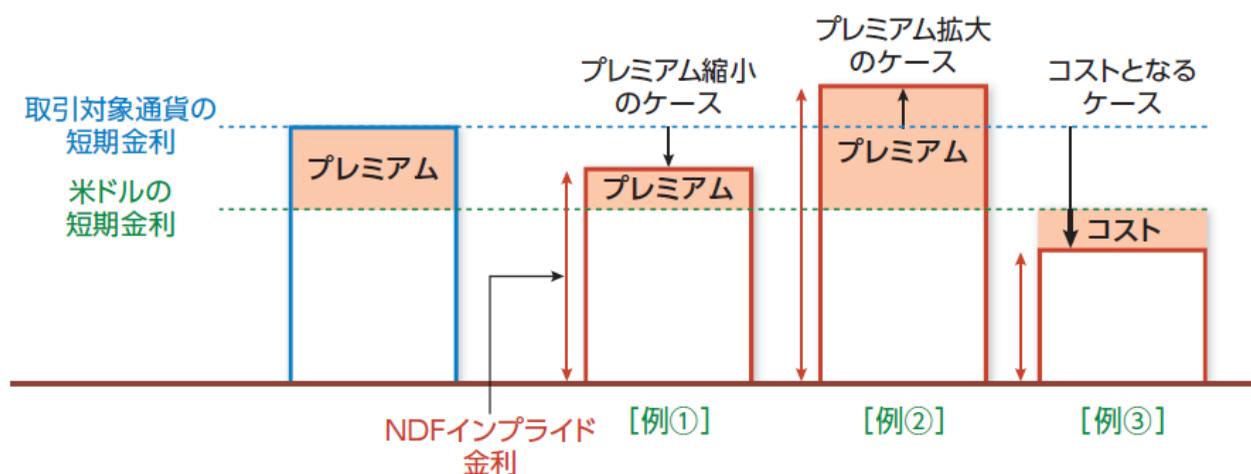
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆ 市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小【例①】(拡大【例②】)し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム/コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイIIー予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資します。
※DR（預託証券）を含みます。



割安な銘柄へ投資します。

① 株主および経営者の視点から本源的価値を算出

- ◆対象企業の企業価値がいくらになるかを、フリーキャッシュフローなどに着目し独自に算出
- ◆「質の高い」魅力的なビジネスを行なっているかを検討
- ◆実地調査を含む詳細な対象企業の分析を必ず実施

② 本源的価値から著しく割安と判断される銘柄に投資

※本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。



約20銘柄を厳選し、集中投資します。

[株式の運用について]

- ◆株式の運用は、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが行ないます。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII— 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

2. 為替取引を活用します。

- ◆当ファンドには次の5つのコースがあり、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。

| コース名 | 為替取引の内容 | 取引対象通貨 |
|--|----------------------------------|----------|
|  日本円・コース | 米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／日本円買い | 日本円 |
|  豪ドル・コース | 米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／豪ドル買い | 豪ドル |
|  ブラジル・リアル・コース | 米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／ブラジル・リアル買い | ブラジル・リアル |
|  米ドル・コース | ————— | ————— |
|  通貨セレクト・コース | 米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／選定通貨買い | 選定通貨 |

※5つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

- ◆「米ドル・コース」以外の各コースでは、為替取引を行なうことにより、「為替取引」によるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)が生じます。
- ◆「日本円・コース」、「米ドル・コース」以外の各コースでは、為替取引の対象通貨の対円レートの上昇(円安)／下落(円高)により、為替差益／為替差損が生じます。
- ◆「米ドル・コース」では、米ドルの対円レートの上昇(円安)／下落(円高)により、為替差益／為替差損が生じます。
- ◆「日本円・コース」では、為替変動リスクの低減を図ります。
ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- ◆「通貨セレクト・コース」において、選定通貨とは、以下の「通貨の運用方針」により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。
また、大和証券投資信託委託株式会社が投資顧問会社として通貨の選定および配分比率を決定します。

「通貨の運用方針」

- 原則として、「シティ世界国債インデックス」および「JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット プロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。
※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。
- 選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- 選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII—予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

3. 毎年2、5、8、11月の各28日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、基準価額に応じた分配金の支払いをめざします。

※基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。

- 計算期末の前営業日の基準価額に応じ、下記の金額の分配をめざします。

計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行わないことがあります。

| 計算期末の前営業日の基準価額 | 分配金額(1万口当たり、税引前) |
|--------------------|--------------------------------|
| 10,500円未満 | 配当収入等相当分(経費控除後) ^(注) |
| 10,500円以上11,000円未満 | 300円 |
| 11,000円以上11,500円未満 | 350円 |
| 11,500円以上12,000円未満 | 400円 |
| 12,000円以上12,500円未満 | 450円 |
| 12,500円以上 | 500円 |

(注) 主要投資対象とする外国投資信託における配当収入相当分から、投資者が実質的に負担する運用管理費用を控除した額に、為替取引によるプレミアム/コスト(金利差相当分の収益/費用)を勘案した額をいいます。

※米ドル・コースは「為替取引によるプレミアム/コスト」が生じません。

※基準価額に応じて、四半期ごとの分配金額は変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※分配により基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

- ◆外国投資信託の受益証券を通じて、米国の株式に投資します。

◆以下、各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

| ファンドの名称 | 略称 |
|--|--------------|
| 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII— 予想分配金提示型 日本円・コース | 日本円・コース |
| 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII— 予想分配金提示型 豪ドル・コース | 豪ドル・コース |
| 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII— 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース | ブラジル・リアル・コース |
| 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII— 予想分配金提示型 米ドル・コース | 米ドル・コース |
| 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII— 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース | 通貨セレクト・コース |

◆上記の総称を「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII— 予想分配金提示型」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII— 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「集中投資のリスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

[日本円・コース]

- ・為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- ・日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

[豪ドル・コース、ブラジル・リアル・コース、通貨セレクト・コース]

- ・取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
- ・投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

[米ドル・コース]

- ・組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド —イーグルアイII—予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

| | 料率等 | 費用の内容 |
|---------|--|--|
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 <上限>3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。 | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | 料率等 | 費用の内容 |
|--------------------|---|---|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 年率 1.215% (税抜 1.125%) | 運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 |
| 投資対象とする 投資信託証券 | 「日本円・コース」、 「豪ドル・コース」、 「ブラジル・リアル・コース」 年率 0.69%程度 「米ドル・コース」 年率 0.65%程度 「通貨セレクト・コース」 年率 0.81%程度 | 投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 |
| 実質的に負担する 運用管理費用 | 「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」 年率 1.905% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「米ドル・コース」年率 1.865% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」年率 2.025% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) ※ただし、この他に「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン」に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。 | |
| その他の費用・ 手数料 | (注) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会